

東京プロジェクトスタディ1 プログラム

「東京でつくる」ということ

—前提を問う、ことばにする、自分の芯に気づく

■第一回：「東京でつくる」への戸惑い 9/22（土）

テーマ：東京に対する距離感、東京についての現在地を確認する

- ・ガイダンス
- ・参加者インタビュー
- ・ナビゲーター&スタディマネージャーの活動紹介

— 御会式見学 10/16（火）～18（木）

■第二回：日本から離れてつくる 10/26（金）

かつて石神夏希と一緒に演劇をつくっていて、現在は日本から離れた外国に移住して「つくる」を続けている仲間に協力してもらい、「今いるところから日本や東京がどう見えるか」「東京でつくるとしたら何をどんなふうにつくる？」等、遠隔でインタビューをした後、ディスカッションする。

★ゲスト：井上知子（俳優／ベルリン）

—[フェスティバル/トーキョー](#)学生プログラム見学および観劇 10月下旬～11月下旬

—[鎌倉 海のアカデミア 2018](#) 見学 10/27（土）～28（日）

—[APAF \(Asian Performing Arts Forum\)](#) 見学 11/6（火）～12（月）

■第三回：ここでつくる／ここではないどこかでつくる 11/16（金）

昨年からはまった京都府舞鶴市との関わりを中心に紹介しながら、城崎国際アートセンターおよび山山アートセンターなど山陰（こころへん）の人々とともに「どこでつくるか」についてディスカッションする。

★ゲスト：吉田雄一郎（KIAC プログラムディレクター／兵庫県朝来市出身、東京⇒豊岡在住）、イシワタマリ（山山アートセンター主宰・美術家／横浜出身、福知山在住）

—[『まちはだれのもの？』](#)@SHIBAURA HOUSE 見学

■第四回：東京で生きる 12/15（土）

東京と地方を行き来する仲間や、東京に根ざしてつくる実践者、東京でモビリティ高く暮らしながらつくる実践者と会う。さらに東京に転居した石神の生活圏をフィールドワークしつつ、そのまちで暮らし働くこととつくることとの関係を考える。

★ゲスト：調整中

※終了後、忘年会を開催予定

■第五回：誰かと一緒につくる一社会、共同体、劇団 1/11（金）

石神夏希が20年近く一緒に演劇をつくってきたペピン結構設計の仲間、あるいはマニラやオーストラリアで演劇を通して自分自身が生まれ育った社会やコミュニティに変化を起こそうとしているアーティストたちをゲストに呼んで、「誰と一緒にするのか」「誰に向けてつくるのか」を考える。

★ゲスト：調整中

-[TPAM-国際舞台芸術ミーティング in 横浜](#) 見学・参加@横浜

■第六回：東京で何を／誰と／どうやってつくる？ 2/1（金）

★ゲストはなしの想定

受講生のみでじっくり議論&ワークを行う予定

■第七回：修了式 2/24（日）

★全スタディが揃って修了式を開催。各スタディでの学びの成果をプレゼンテーションする予定。